

# 1

## 公立学校におけるICT教育

ほぼすべての公立学校がインターネットに接続し、大半がホームページを開設

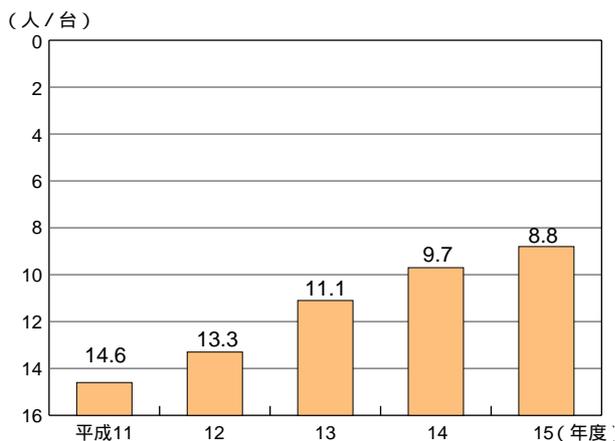
### 1 公立学校におけるICT利用環境の整備

公立学校における教育用コンピュータの整備は、平成15年度には児童生徒8.8人に1台となっている（図表）。また、平成15年度における公立学校のインターネット接続率は99.8%に達し、ほぼすべての公立学校がインターネットに接続している。回線速度400kbps以上での高速インターネット接続校は公立学校全体の71.5%となり、容量の大きい動画像のスムーズな送受信が可能となっているほか、普通教室のLAN整備率は37.2%、ホームページを開設している学校は67.4%となっている（図表、）。

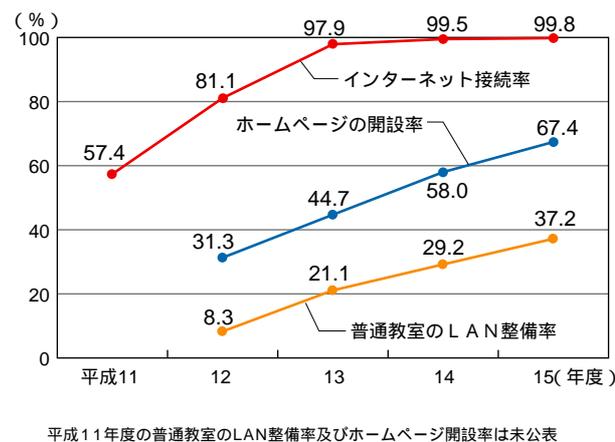
### 2 教員のICT指導力

子どもたちに、ICT教育を実施していくためには、教員がICTを活用して指導ができる能力を修得することが不可欠である。公立学校におけるコンピュータの操作が可能な教員の割合は平成15年度には93.0%となっている。また、コンピュータを利用して教科指導を行うことが可能な教員の割合は60.3%となっている（図表）。

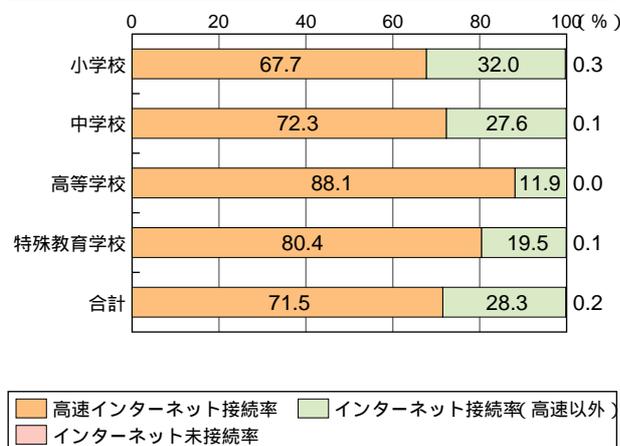
図表 公立学校におけるコンピュータ1台当たりの児童生徒数の推移



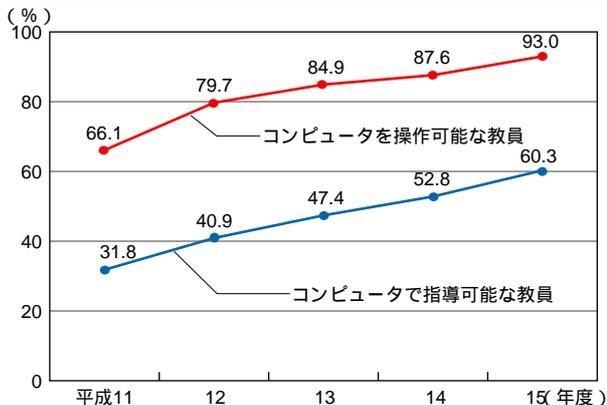
図表 公立学校におけるインターネット整備率の推移



図表 公立学校におけるインターネット接続内訳 (平成15年度)



図表 公立学校におけるコンピュータを操作・指導可能な教員の比率の推移



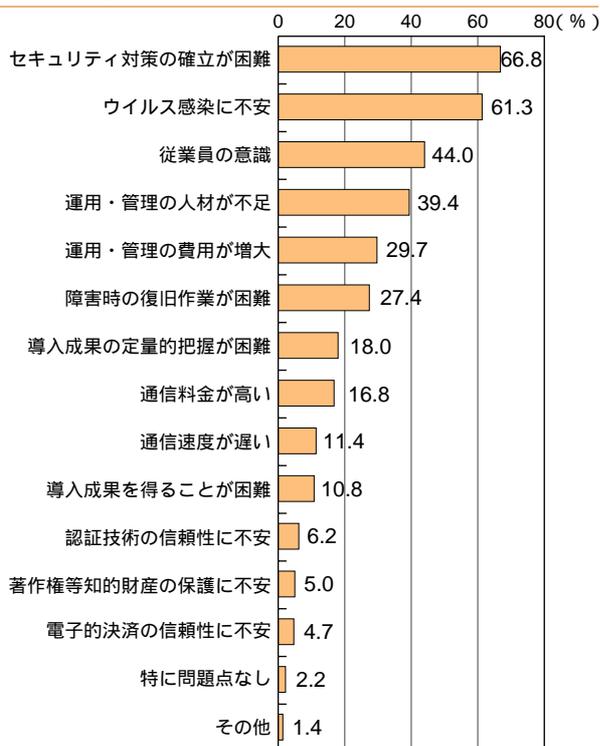
図表 ~ 文部科学省「学校における情報教育の実態等に関する調査結果」により作成

## セキュリティ対策の確立を困難とする企業は66.8%

## 1 企業における実務家育成の必要性

企業における情報通信ネットワークの利用上の問題点として、66.8%の企業がセキュリティ対策の確立の困難さを挙げ、従業員の意識や運用・管理者の人材不足に不安を感じる企業も多い(図表)。企業における従業員のICT教育は48.1%の企業が実施しており、内容については、外部機関によるICT関連教育・研修が19.7%、社内におけるICT関連教育・研修が19.4%となっている(図表)。

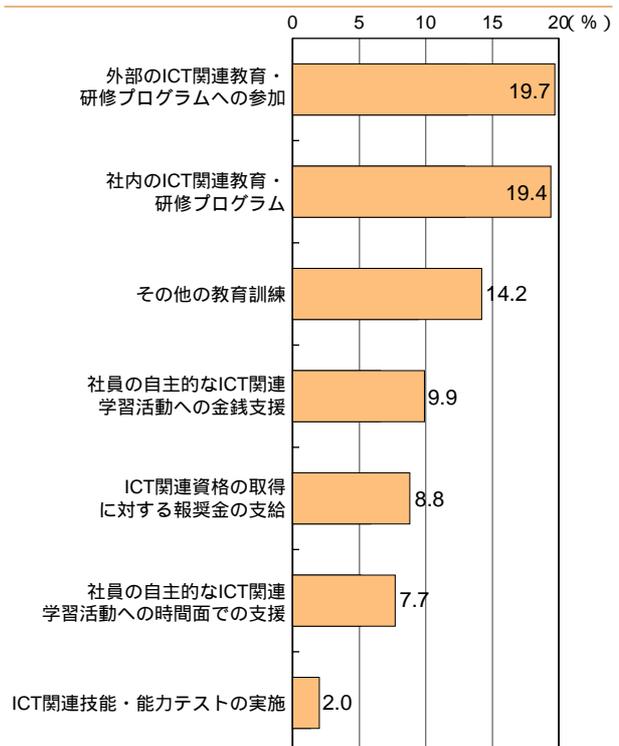
図表 企業における情報通信ネットワーク利用上の問題点



## 2 大学等における研究者の育成

文部科学省の調査によると、ICT関連の修士・博士課程修了者数は、平成15年度において、修士課程15,706人、博士課程1,924人となっている(図表)。

図表 企業における従業員のICT教育の実施状況



図表、(出典)総務省「平成16年通信利用動向調査」

図表 ICT関連の修士・博士課程修了者数の推移

	(人)				
	平成11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
ICT関連修士課程修了者数	12,650	13,509	14,808	15,318	15,706
ICT関連博士課程修了者数	1,568	1,637	1,663	1,790	1,924

文部科学省資料により作成

関連ページ 人材の育成については、3-6-2(P246)参照